



第51号

発行 府中市消防団
編集 府中市消防団広報委員会
(府中市行政管理部防災危機管理課内)
TEL 042・335・4068

【消防団出動件数(平成31年1月から令和元年12月まで)】
災害件数(誤報を含む) 75件
災害出動延べ人数 3,676人
その他出動(訓練など)件数 212件
その他出動(訓練など)延べ人数 4,341人

府中市消防団出初式

令和2年1月7日(火)
府中公園

新春恒例の伝統行事である府中市消防団出初式が、令和2年1月7日(火)、府中公園において大勢の市民の方々に見守られる中、盛大に挙行されました。

この出初式は、消防団の勇姿を市民に披露するとともに、団員にとっては、日頃からの操法訓練の成果を発揮し、ご臨席いただいた方々からの激励を受け、改めて地域の安全・安心のために力を尽くすことを固く誓う場でもあります。

式典に先立ち、22台のポンプ車等による市内パレード、また会場内では、睦消防組による伝統の木やり行進、梯子のりが行われ、観客を魅了する素晴らしい演技が披露されました。川崎副団長による半鐘を合図に式典が始まり、表彰では高野市長から消防団歴15年の団員の方々に感謝状が授与されました。続いて、本間団長から、



睦消防組による梯子のり



ポンプ車等による市内パレード

永年勤続表彰として消防団歴35年、30年、25年、20年、15年、10年、5年の団員の方々に表彰状が授与されました。

引き続き、竹石府中消防署長より、優良分団表彰として、第4分団、第10分団、第11分団、第12分団、第15分団、第18分団が表彰され、更に東京都三多摩消防団連絡協議会からは、優良分団として第10分団が表彰されました。

また、消防団員として長年ご活躍いただき、平成31年3月末日をもって退団された方々に、総務省消防庁長官表彰が授与

されました。式典の終盤には、指揮車を先頭に21台のポンプ車等による分列行進、第10分団によるポンプ操法演技と第1分団、第2分団、第3分団、第17分団、第18分団による一斉放水が行われました。



一斉放水

歳末特別警戒

令和元年12月28日(土)〜30日(月)に歳末特別警戒を実施しました。

この歳末特別警戒は、毎年12月28日〜30日の3日間で行い、警戒本部を府中市中中央防災センターに、分所を各防災センター(分団詰所)に設置し、消防ポンプ車、ホース等の機械器具及び水利等の消防施設を点検しました。

また、市長、都議会議員及び府中消防署長が各防災センターへの巡察を2日間に分けて行い、各分団に対して激励のお言葉をいただきました。



団本部による巡察の様子

広報委員長コラム

令和元年10月12日、過去最強クラスの台風19号が関東を直撃しました。府中では、多摩川の氾濫が警戒される中、避難勧告が発令。まさに府中市水害ハザードマップに示された浸水危険度の高いハケ下地域の市民に、安全な場所への自主避難を消防ポンプ車で広報してまいりました。また、市内各所の冠水箇所への対処や土嚢を積みむなど、各分団で出動しました。(水害発生時、府中市消防団は水防団として活動します。)市内流域の多摩川が氾濫しなかったのは運が良かったと思います。もし氾濫していたと想像するとゾッとします。

平成から令和に移り変わっても、全国各地で大規模な火災、地震や台風などの自然災害は発生しています。少しでも安心安全に暮らせる街府中であるように、日頃の火災予防はもろろんのこと、災害が発生してしまった時のための備えや心構えが重要だと痛感しました。広報委員会では今後も消防団だよりを通じて消防団活動を地域のみならず、知っていただけるよう発信していきます。そして、また来るであろう災害に備え、地域と連携して防災にあたりたいと思います。今後とも宜しくお願いいたします。



広報委員長 第5分団 馬場 稔郎

広報委員会名簿

Table listing members of the Public Relations Committee, including names, positions, and contact information.

永年勤続者

【表彰を受けて】

この度、令和2年の年頭を飾る出初式において、多くのご来賓のご臨席の下、本間団長より35年永年勤続表彰の栄を賜りました事、大変光栄に思います。

昭和58年4月に入団して以来、消防団活動を続けてこられたのは、市当局、諸先輩、地域の皆様、そして家族の理解と多くの皆様方に支えて頂いたからこそと心より感謝申し上げます。

入団から今日まで、日本中で多くの災害などで尊い生命と財産が失われました。府中市においても昨年台風19号により初めての避難勧告が発令され、消防団も広報活動や水損防止などを行うな



団本部 副団長 大久保 幸一

ど、消防団活動も多種多様となる中、今後も防火・防災に各関係機関と「ONETEAM」となり、府中市民の生命・身体・財産を守るべく微力ながら貢献できる様に努力してまいります。今後ともどうぞよろしくお願

Table listing award recipients for various service milestones (15, 20, 25, 30, 35 years) across different fire groups.

東京都消防操法大会へ向けて訓練

令和という新しい年号になり初めての第49回東京都消防操法大会にむけて、我々第10分団は府中市代表として1年間にわたり昼夜問わず長く厳しい訓練を続けてきました。しかしながら、記憶に新しい日本各地に甚大な被害を及ぼした台風19号の影響により大会中止を余儀なくされました。大会結果は残念ながら出ませんでした。1年という長い時間を使い己の力をすべて出した我々は、大会の結果以上に絆の深まりと大切さ、また府中市消防団のすばらしさを再確認致しました。本団団長をはじめとする本団の皆様、各分団の皆様、防災危機管理課の皆様、なにより府中消防署の教官の皆様には献身的なご指導やご協力、ご声援を賜りまして誠に感謝しております。ここで学んだことすべてを胸に刻み、我が町府中の安心安全、防災や地域活性化など今後の消防団活動に活かして行きたいと思っております。

さて、第49回東京都消防操法大会の選手である精鋭5名の言葉を掲載させて頂きます。

【指揮者 斎藤祐一郎】

携わっていただいた全ての関係者に感謝します。本番直前まで10分団が壊れずに迎えられたのは過度なプレッシャーをかけずに訓練しやすい環境を作っていたいただいた消防署、本団及び分団長会の皆様のおかげだと思っております。ありがとうございました。

【1番員 村木康真】

令和元年10月12日(土)第49回東京都消防操法大会において、我々第10分団は府中市代表として選出され、私は1番員として訓練に務めてまいりました。訓練中は沢山の支援と協力をいただきました。団本部をはじめとする各分団、府中消防署教官の皆様、団事務局の皆様、そしてなにより第10分団の諸先輩方をはじめとする団員の皆様心より感謝を申し上げます。

しかし、まことに残念ながら今回の大会は台風19号の接近にもない中止となってしまいました。その中でも、約1年間にわたる長い練習期間を乗り越えられたのは今回のメンバーがいたからこそなしたものだと思っております。

今大会出場するにあたり、メンバーのみならず10分団の全団員の気持ちが一つになりそしてさらなる団結力と結束力が生まれました。

これからも今大会で培った技術、そして団結力、結束力をもってさらなる消防団活動に尽力して行きたいと思っております。

この度は多くのご支援ご協力を心から感謝するとともに、ますますのご指導ご鞭撻いただけますようお願い申し上げます。

【2番員 林優介】

皆さんこんにちは。今大会操法メンバーに選ばれました府中最速カリスマ2番員の林優介です。

自分の父親が分団長の時、東京都消防操法大会の出場が決まり息子である私が責任を取るべく2番員として出場する事になりました。

1年間の練習を通して操法についてとてもいい勉強になりました。規律スピード声どれもすごく大切な要素で教官に指導されながら10月12日の大会に向け練習を頑張ってきました。

残念ながら台風19号の影響で大会は中止になってしまいました。これまで得た知識は今後も必ず役に立つと感じています。今後は自分が指導者として教えられる立場で教えてあげたらなと思います!!

この操法メンバーで出来たことは僕にとって貴重な財産になりました。本団にありがとつございました!! 最後に...当分操法はもう大丈夫です.....

【3番員 中島達郎】

東京都消防操法大会出場にあたり約1年間の訓練をしてきました。辛く苦しいことの連続でしたが、ご指導、ご声援、そしてたくさんのご支援頂きました。全ての方々に感謝の気持ちを込めて悔いなく全力で本番をやりきることで恩返しになると考えてやってきました。

また、訓練を通して操法の知識やこれまで一緒に訓練してきた仲間達の絆がさらに深まったことが一番の財産になりました。

今回の経験を活かしてこれからの消防団活動に励んでいきたいと思っております。

【4番員 佐野博昭】

約1年間にわたり東京都操法大会の練習をしてきましたが台風直撃により中止となり非常に残念でなりません。関係各所に多大なるご支援頂きありがとうございました。

今回の経験を日々の消防団活動に活かせるよう努めて行きます。

台風15号・19号に伴う警戒活動

令和元年9月8日(日)に台風15号、同年10月12日(土)に台風19号が関東地方に非常に強い勢力のまま上陸し猛威を振るい、各地で甚大な被害をもたらしました。

府中市消防団では、団本部が中央防災センターに参集し、各分団へ緊急参集の指示を行いました。



▲冠水が予想される建物に土のうを積み重ねる団員



▲増水した多摩川

いました。各地域の防災センターでは緊急出動に備え分団長以下、団員が待機し、地域の警戒活動に努めました。



▲冠水した現場で活動する団員

府中市施行65年の歴史において初めて自主避難所を開設し、避難勧告等を発令しました。市内では、大雨による冠水被害が発生、各地域の分団が自動的、浸水対策として土のうを積み重ね、水防活動を行いました。

府中市水害ハザードマップ

府中市水害ハザードマップは、国土交通省が公表している「多摩川水系多摩川、浅川、大栗川洪水浸水想定区域図」を基に、台風や大雨などによって多摩川が氾濫したことを想定して示した図です。

あらかじめ避難方法や避難場所を確認しておき、いざという時に役立ててください。

府中市水害ハザードマップ

右記の二次元コードを読み取るとホームページにアクセスします。
<https://www.city.fuchu.tokyo.jp/bosaibohan/saigai/2017suigaimappu.html>



機 関 員 訓 練

令和元年6月7日(金)に府中警察署交通課及び府中消防署による緊急車両走行時の安全運転講習(座学)が行われました。



令和元年6月30日(日)・9月8日(日)に府中運転免許試験場で実施されたポンプ車操縦訓練(実技)を熱心に受講する機関員。ポンプ車に乗車する際は、点検、安全確認の徹底で事故防止!



試験場コース内で、クランク、S字、V字、駐車等様々な操縦訓練を行う機関員。同乗者も周囲の安全確認・誘導の徹底を!



令和元年11月3日(日)押立緑地において機関員運用訓練(実技)が行われました。府中消防署の方々を教官として、新人・ベテランのグループに分かれポンプ操法、放水技術・知識をしっかりと学びました。

